

純真学園図書館だより

Library Letter Vol.13 No.1

May 2022

特集

KinoDen(紀伊國屋書店電子書籍閲覧)試読サービス

8月11日まで4万点の図書について1冊各5分間の試読可能!

【アクセス方法】

(1) 学内パソコンからアクセスする場合

- ① 純真学園大学・純真短期大学公式サイト TOP>図書館>本・雑誌を探す
>「お知らせ」から「KinoDen」へアクセス

(2) スマホ・自分のパソコンからアクセスする場合

- ① 学内の純真 Free Wi-Fi に接続
- ② 右上の QR コードまたは下記の URL

(<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/junshin>) 「KinoDen」へアクセス

(3) 学外からスマホ・自分のパソコンでアクセスする場合

- ① 学内ネットワークから初回アクセス後、画面右上の「ログイン」を選択
- ② 右にある画面が表示されるのでご希望のログイン方法でアカウントを作成、各種お持ちのSNSアカウント等でサインイン。
- ③ 2回目以降は上記URLかQRコードから接続、作成したアカウントより学外からアクセスができます(ログイン有効期限最大 90 日)



SNS アカウントを使用しない場合メールアドレスで新規アカウント作成。

いろんなジャンルの書籍があるので検索して、たくさんの書籍を試読してみてください。



【KinoDen (試読サービス) でできる事】

KinoDen (試読サービス) では**電子書籍 4 万冊が 5 分間試し読み**できます(2022 年 8 月 11 日まで)。興味を持った図書があった場合は、まず読んでみてください。皆様の試読状況・リクエストで購入を検討致します。(ダウンロード・印刷はできません)

図書館 Q & A 図書館利用のお役立ちコーナー



Q: 図書館のノートパソコンから印刷できますか?

A: 図書館では、印刷できません。パソコン実習室をご利用ください。

お知らせ

*6月の開館時間 【月-金】9:00 ~ 21:00 【土】9:00~17:00

*6月の休館日 定期休館日 6月30日(木)

★毎月月末日は定期休館日です(土日祝日の場合は前日)。

★定期休館日は返却のみ受付ます。



図書紹介

『図解 眠れなくなるほど面白い 免疫力の話』

日本文芸社

新型コロナウイルスが発生して丸2年。まだまだ感染には十分配慮しないといけませんが、予防の一つとして免疫力の向上があげられる。免疫力を上げるといような病気の予防にもなる。

この本には「免疫力とは」から「免疫力を上げる(食べ方)(生活習慣)(運動)」まで実にわかりやすく書かれている。なかでもオススメは「免疫力を上げる最強の方法5選」である。

書かれていることを少しずつでも実行して免疫力向上を図り、病気に負けない最強の体を目指してみてもいい。コロナに負けるな!

配架場所・・・図書館：カウンター

雑誌紹介

「INTENSIVIST」

メディカル・サイエンス・インターナショナル

今年度から雑誌のラインナップに新しく加わりました!

「世界標準の集中治療を誰にでもわかりやすく」をコンセプトとして発足した日本集中治療教育研究会の活動をベースに、毎号1つのテーマについて徹底的に検証・解説されています。発行は年4回と少なめですが、集中治療専門医だけでなく、専門ナースや臨床工学技士など幅広い職種の若手へ向けた内容となっています。

配架場所・・・図書館：雑誌

館長室から こんにちは

新入生・進級生のみなさん、ご入学・ご進級おめでとうございます。この4月から図書館長を拝命いたしました。みなさんの図書館への来訪をお待ちしています。

新しい年度が始まり、すべてのことが心機一転、新たな精神で取り組める気持ちになります。自然も山々は緑を新たにし、花々も咲き誇るようになりました。この時期になりますと、生命の蘇りを感じさせてくれます。

「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」。自然の悠久さを感じると同時に、時代の移り変わりの速さに驚きを禁じ得ないこともあります。

一昔前は、学校での別れが、永遠の別れのような時もありました。とりわけ、国外への移住の場合は特にそうです。しかし、今では、文明の利器を使って、いつでも話ができるし、まるでそばで会っているかのように顔も見られます。若いみなさんの感覚は、日々新たにされているのでしょうか。図書館も新たな取り組みを進めていかなければなりません。電子図書化の促進です。これにより、図書館は一層使いやすくなり、みなさんにとっても情報へのアクセスが便利になることと思います。図書館に来訪しないと見られないものもたくさんありますが、電子化の促進により、使い勝手のよいものに進化させていきたいと考えています。みなさんの図書館の利活用をお待ちしています。

石橋 孝明